

# 嵐山川づくり通信

R3. 7. 12

【嵐山左岸溢水対策】可動式止水壁の操作を実施！  
～今年度から運用を開始し、初めての実動～



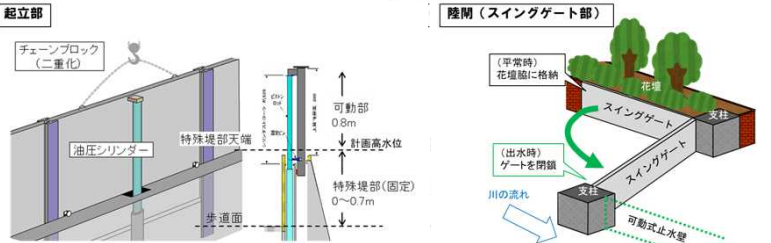
令和3年7月7日、大雨による河川の増水に備え、淀川水系桂川の嵐山地区において、**可動式止水壁**の操作を行いました。

## 概要

- ・嵐山の景観や眺望への配慮等の観点から、**洪水時に限って起立する可動式止水壁**として、令和元年12月に起工式を開催、翌年1月から整備工事を実施し、令和3年3月に概成しました。
- ・今年度の出水期から治水機能を発揮するため、委託した京都市の操作のもと、**今回初めて実動**しました。（景観等に配慮した意匠工事は今年度実施予定）

## 可動式止水壁の概要

- 桂川の計画高水位までの固定部と、その上部80cmの可動部で構成され、渡月橋上流から船着き場付近までの約260mの区間に129枚のパネルを配置。
- 平常時は、歩道から最大高さ70cm程度の**固定部のみが設置**され、可動部は固定部内に格納。
- 洪水時は、**油圧シリンダーにより、固定部内から可動部を押し上げ、起立**。



油圧シリンダーによる押し上げ操作  
(操作は京都市が実施)



現地状況(起立部)



現地状況(スイングゲート)

## 過去の被害

平成29、30年では嵐山において浸水被害が発生しましたが、可動式止水壁があれば、**浸水被害を回避**することが可能です。  
※右写真は可動式止水壁設置時のイメージです。



H30年7月豪雨による浸水



H29年10月台風21号による浸水

## 出水概要

- 7月7日から8日にかけて近畿地方で激しい雨が降る予測となり、7月7日14時から操作を開始し、同日18時に完了しました。7月8日10時点で、降り始めからの累加雨量は嵐山雨量観測所で100mmに達しました。
- 今回の出水では、幸い嵐山地区で氾濫する水位まで桂川の水位が上がらず、浸水被害は発生しませんでした。引き続き、地域の皆様の安全・安心のため取り組んでまいります。



国土交通省



京都府



京都市

## 【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局  
淀川河川事務所 調査課  
072-843-2861

